

V.文献データベースによる 日本語図書の先行研究調査

卒論・研究きちんとスタート！シリーズ①

2021.6 大阪大学総合図書館 学習・調査支援担当



次に、文献データベースを使った、日本語図書の先行研究調査について解説していきます。

適切なデータベースの選択：図書

図書のデータベース≡蔵書検索システム

基本的には、所蔵しているかどうか / どこに所蔵しているのかを調べるためのもの
図書として出版されている先行研究の調査にも援用できる

所蔵している機関によって収録データベースが異なる

大阪大学の蔵書 → 「大阪大学OPAC」 ※各大学のOPACがある
国内の大学・研究機関の蔵書をまとめて → 「CiNii Books」
国立国会図書館 → 「国立国会図書館オンライン」
国立国会図書館+都道府県立図書館+政令指定都市立中央図書館 → 「NDLサーチ」
都道府県内の公共図書館をまとめて → 「カーリル」「大阪府立図書館横断検索」等
海外の図書館 → 「WorldCat」等

卒論・研究きちんとスタート①日本語文献探索のキソ

図書を対象としたデータベースは、どこに所蔵しているのか、という蔵書検索システムとしての性質を持っていることが多いです。
これらのデータベースは、欲しい図書がどこにあるかを調べることができるだけでなく、図書として出版されている先行研究の調査にも活用することができます。

所蔵している機関によって収録データベースが異なる、ということを意識してください。
機関ごとに作成されているものもあれば、複数の機関の蔵書をまとめて検索できるものもあります。

適切なデータベースの選択：図書

日本語の**学術書**の検索については、基本的には以下2つで足りる

CiNii Books	国内の大学・研究機関の図書館所蔵資料がほとんど収録されている。
国立国会図書館オンライン	国立国会図書館法によって、国内で出版された出版物は国立国会図書館への納入義務があるため、国内で出版された図書のうちかなり多くを所蔵している。 *ただし、時代を遡っていくと収集率は下がっていくことに留意

卒論・研究きちんとスタート①日本語文献探索のキソ

日本語の学術書の先行研究調査にあたっては、基本的にはCiNii Booksと国立国会図書館オンラインの2つで足りるでしょう。

CiNii Booksには、国内の大学・研究機関の所蔵資料のほぼ全体が収録されていますので、まずはCiNii Booksを活用するのが基本となります。

日本語の学術書であれば、基本的にはどこかの大学・研究機関の図書館で所蔵していると考えられるためです。

CiNii Booksに登録が無いものは、かなり希少なもの・ニッチな分野のものであるか、出版されたばかりでまだ所蔵されていないかのどちらかでしょう。

国立国会図書館オンラインでは、国立国会図書館所蔵資料を検索することができます。

CiNii Booksに収録のない資料も、国立国会図書館オンラインで見つかることがあるので、併せて検索してみると良いでしょう。

図書を検索するときのポイント

書名・著者名に含むキーワードでしか検索できないと想定する

多くのデータベースにおいて、これが基本

自分の入れたキーワードと文字列として一致するかどうか

キーワードの検討がとても大切

日本語論文調査の章でも触れた、同義語や類義語を検討する

とくに大切なのが「上位語」（ある概念を含むより広い概念）

←図書は中身の分量が多いので、自分で思いつくキーワードよりも、広い概念が書名に入っていることが多い

卒論・研究きちんとスタート①日本語文献探索のキソ

図書を検索する際は、論文を検索するとき以上にキーワードの検討が大切です。

図書を検索できる多くのデータベースでは、目次を検索できず、書名・著者名などに対してしかキーワード検索できません。

論文にくらべて、図書は扱っている内容の分量が多いため、自分で思いついたキーワードよりも、広い概念が書名になっていることが多いです。

そのため、自分の入力したキーワードでの検索結果が想定より少ない場合は、上位語を検討して再検索してみると良いです。

CiNii Booksについて

基本的には書名・著者名・出版社名などでしか検索できない

「図書・雑誌検索」タブで、
目次が検索できるのはほんの一部の資料のみ
AND, OR検索方法はCiNii Articlesと同じ



<https://ci.nii.ac.jp/books/>

「内容検索」タブに切り替えると目次や内容説明を検索できる資料が増える

ただし、あくまで目次データを持っている資料のみ（全ての資料では無いので注意！）

卒論・研究きちんとスタート①日本語文献探索のキソ

CiNii Booksについてもう少しご紹介します。

CiNii Booksでは、「図書・雑誌検索」タブが初期選択されています。

この状態ですと、目次が検索できるのはほんの一部の資料のみで、基本的には書名・著者名・出版社名などでしか検索できません。

ここから、「内容検索」タブに切り替えると、目次や内容説明を検索できる資料が増えます。

「図書・雑誌検索」タブでの検索で、ヒットする資料が少ない場合は、「内容検索」タブを試してみても良いでしょう。

ただし、あくまで目次データが付与されている資料のみで、全ての資料に対して目次を検索出来ているわけではないので注意が必要です。

[参考] CiNii Booksで大阪大学所蔵資料を確認しやすくする方法

CiNii Booksを「大阪大学」モードにすると、大阪大学所蔵資料が一番上に表示されて便利

キャンパス内からであれば、自動でこのモードになる

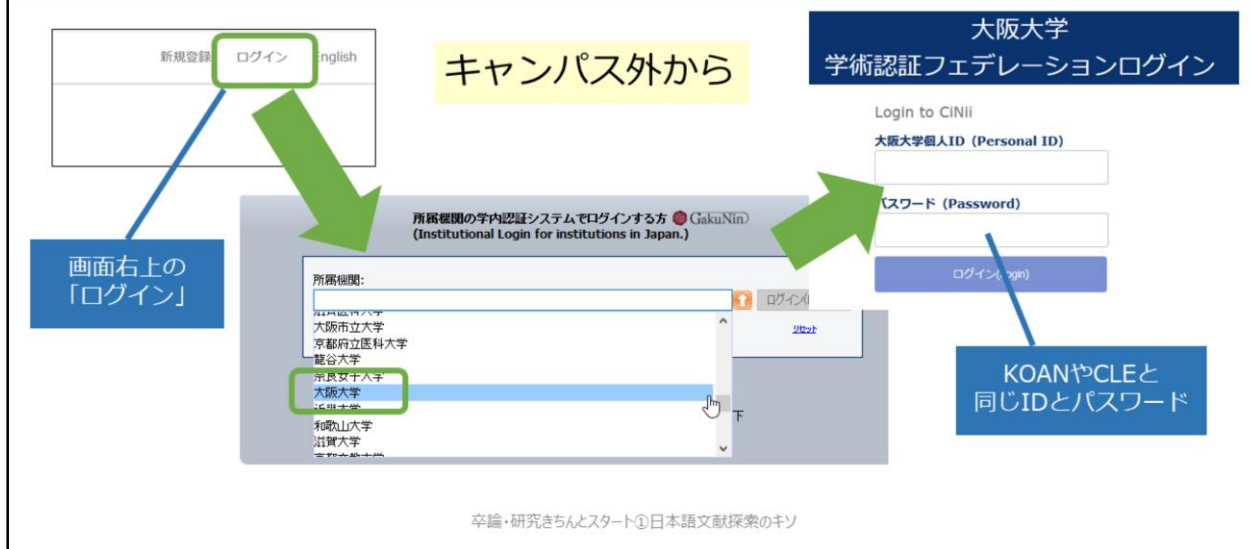


大阪大学の
所蔵資料

CiNii Booksについての補足情報です。

CiNii Booksにキャンパス内からアクセスすると、所蔵図書館リストの一番上に大阪大学の図書館が表示され、大阪大学での所蔵有無が一目でわかって便利です。

[参考] CiNii Booksで大阪大学所蔵資料を確認しやすくする方法



キャンパス外からアクセスしたときも、大阪大学の図書館を一番上に表示することが可能です。

方法としてはこのスライドのとおりで、CiNii Books画面右上の「ログイン」から、所属機関に大阪大学を設定し、大阪大学個人IDでログインするという形です。

国立国会図書館オンラインについて

基本的には書名・著者名・出版社名などでしか検索できない

目次が検索できるのは一部の資料のみ

AND, OR検索方法はCiNii Articlesと同じ

<https://ndlonline.ndl.go.jp/>

目次も検索したいときは、資料種別を絞り込まないこと

2つのデータベースで目次データの主な収録年代が違います。

- ・CiNii Booksの「内容検索」は1986年以降が主
- ・国立国会図書館オンラインは1968年頃までが主



卒論・研究きちんとスタート①日本語文献探索のキソ

次に、国立国会図書館オンラインについてです。

こちらの一部の資料については、目次を対象に検索できますが、基本的には書名・著者名・出版社名などが検索対象です。

2つのデータベースで、目次データの主な収録年代が違います。

CiNii Booksの「内容検索」タブでは主に1986年以降の資料、国立国会図書館オンラインでは主に1968年頃までの資料の目次データが多くなっています。

OPACでの先行研究調査では不十分か

あくまで大阪大学で所蔵している範囲での検索となる

大阪大学で所蔵していない図書でも、重要な先行研究が存在する可能性は当然ある

大阪大学の図書館で所蔵している資料

→基本的にCiNii Booksに登録されている

そのため、CiNii Booksを検索すれば、大阪大学OPACの中身も基本的に含んでいる

例外：電子ブック / 冊子でも古い資料や一部の研究室所蔵資料はCiNii Booksに未登録

OPACも書名・著者名・出版社名などでしか基本的に検索できません
検索仕様は以下のとおりで、()での掛け合わせはできません。

AND検索 SNS△ツイッター

OR検索 SNS△+△ツイッター

※「△」はスペース。半角でも全角でもOK。

※「+」は必ず半角で入力



卒論・研究きちゃんとスタート①日本語文献探索のキソ

日本語図書の先行研究調査となると、まずは大阪大学OPACを使っている、という方も多いかもしれません。

大阪大学OPACから検索できる資料はあくまで大阪大学で所蔵している範囲のものです。

大阪大学で所蔵していない図書でも、重要な先行研究が存在する可能性は当然ありますので、大阪大学OPACでの調査だけでは不十分です。

大阪大学の図書館で所蔵している図書は、基本的にCiNii Booksに登録されている、と考えていただいて差し支えありません。

そのため、CiNii Booksを検索すれば、大阪大学OPACの収録資料も基本的に検索できています。

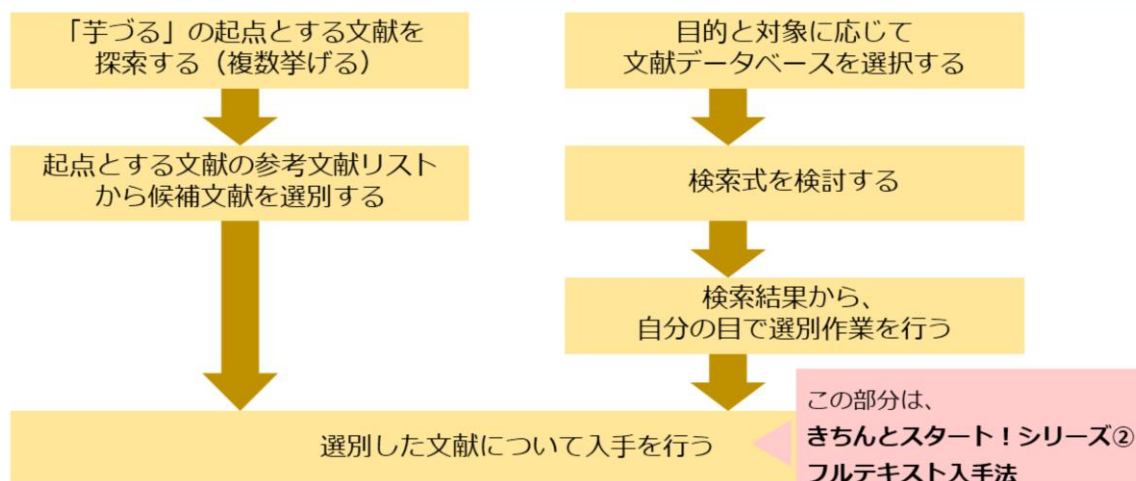
漏れなく正確な先行研究調査を行うという観点からすると、CiNii Booksと国立国会図書館オンラインを活用して、日本語学術書を広く探すほうが良いでしょう。

まとめ



最後に、本教材のまとめです。

先行研究調査での文献探索～入手までの流れ（おさらい）



卒論・研究きちんとスタート①日本語文献探索のキソ

先行研究調査での論文検索から入手までの流れは概ねこのような形です。全体像を理解できましたか？

左側のラインが「芋づる式」の調査方法、右側のラインが文献データベースによる調査方法です。

片方の方法でしかうまく見つけることが出来ない文献もあるはずです。両方の方法をしっかり併用して、漏れの無い先行研究調査へとつなげてゆきましょう。

そして、この内容をぜひ近日中にまずは実践してみてください。実際に手を動かすことで、身に付けて行っていただければと思います。

ご相談ください

総合図書館参考調査カウンター [平日9:00～17:00]

sogo-ref@library.osaka-u.ac.jp

適切なデータベースの選択 / それぞれのデータベースの使い方
検索式やキーワードの検討 etc.

対面・メールでの相談の他、オンライン相談も受付中です。

<https://www.library.osaka-u.ac.jp/gakunai/sougou/reference/>



卒論・研究きちんとスタート①日本語文献探索のキソ

そして、実際にやってみると、それぞれのデータベースの使い方や、適切なデータベースの選択、検索式やキーワードの検討などで迷ったり困ったりすることがあるかと思います。

その際は、ぜひ総合図書館参考調査カウンタへご相談ください。

対面・メールでの相談のほか、Zoomを活用したオンラインでの相談も受付中ですので、お気軽にご利用ください。

本教材には事後課題も用意しております。復習や力試しにぜひご活用ください。

受講してくださりありがとうございました。

参考文献リスト

明石芳彦(2018)『社会科学系論文の書き方』ミネルヴァ書房.

秋山哲雄, 田中大喜, 野口華世編(2014)『日本中世史入門：論文を書こう』勉誠出版.

味岡美豊子(2009)『社会人・学生のための情報検索入門』ひつじ書房.

白井利明, 高橋一郎(2013)『よくわかる卒論の書き方』第2版. ミネルヴァ書房.

藤田節子(2007)『キーワード検索がわかる』筑摩書房.

村上紀夫(2019)『歴史学で卒業論文を書くために』創元社.